

県内の外国人住民数（在留資格別）

平成27年（2015年）12月末現在 長野県国際課調べ

（単位：人）

| 入管法 | 上陸許可 | 就労 | 在留資格名 | 本邦において行うことのできる活動 | 該当例 | 在留期間 | H27.12.31現在 外国人住民数 (a) | H26.12.31現在 外国人住民数 (b) | 増減 (a)-(b) | H27 構成比 |
|---------|---------|-------------------|--------------|--|--|---|------------------------------|------------------------------|---------------|------------|
| 法別表第一の一 | | 各在留資格で定められた範囲での就労 | 外交 | 外国政府の外交使節団若しくは領事機関の構成員等及びその家族の活動 | 外交官とその家族 | 外交活動の期間 | - | - | - | - |
| | | | 公用 | 外国政府若しくは国際機関の公務に従事する者及びその家族の活動 | 領事館の事務職員とその家族 | 5年、3年、1年、30日又は15日 | - | - | - | - |
| | | | 教授 | 大学等及び高等専門学校における研究、研究の指導、教育 | 大学教授 | 5年、3年、1年又は3月 | 38 | 38 | 0 | 0.12% |
| | | | 芸術 | 収入を伴う芸術上の活動（「興行」における活動を除く） | 作曲家、画家 | 5年、3年、1年又は3月 | 3 | 3 | 0 | 0.01% |
| | | | 宗教 | 外国の宗教団体より本邦に派遣された宗教家の行う宗教上の活動 | 僧侶、牧師、神父 | 5年、3年、1年又は3月 | 61 | 68 | -7 | 0.20% |
| | | | 報道 | 外国の報道機関との契約に基づいて行う報道上の活動 | 新聞記者、報道カメラマン | 5年、3年、1年又は3月 | 0 | 0 | 0 | 0.00% |
| 法別表第一の二 | 要省令基準適合 | 各在留資格で定められた範囲での就労 | 高度専門職 | 高度の専門的な能力を有する人材として法務省令で定める基準に適合する者が行う、学術研究又は経済の発展に寄与することが見込まれる活動（1号、2号） | ポイント制による高度人材 | 5年（1号）、無制限（2号） | 2 | 0 | 2 | 0.01% |
| | | | 経営・管理 | 本邦において貿易その他の事業の経営・管理に従事する活動 | 企業等の経営者・管理者 | 5年、3年、1年、4月又は3月 | 92 | 88 | 4 | 0.30% |
| | | | 法律・会計業務 | 外国法弁護士・公認会計士等の活動 | 弁護士、公認会計士 | 5年、3年、1年又は3月 | 0 | 1 | -1 | 0.00% |
| | | | 医療 | 医師、歯科医師等の法律上資格を有する者が行う医療に係る活動 | 医師、歯科医師、薬剤師、看護師 | 5年、3年、1年又は3月 | 16 | 12 | 4 | 0.05% |
| | | | 研究 | 公私の機関との契約に基づき行う研究活動 | 政府関係機関や私企業等の研究者 | 5年、3年、1年又は3月 | 3 | 4 | -1 | 0.01% |
| | | | 教育 | 小中高校等及び専修学校、各種学校等における教育活動 | 語学教師等 | 5年、3年、1年又は3月 | 195 | 188 | 7 | 0.64% |
| | | | 技術・人文知識・国際業務 | 理学・工学の知識を要する業務に従事する活動又は人文科学の知識を要する業務及び外国の文化・感受性を要する活動 | 技術者、通訳、私企業の語学教師、マーケティング業務従事者等 | 5年、3年、1年又は3月 | 643 | 597 | 46 | 2.11% |
| | | | 企業内転勤 | 本邦に拠点をもち機関の職員が行う技術、人文知識・国際業務の活動 | 外国企業の本邦事務所への転勤 | 5年、3年、1年又は3月 | 43 | 52 | -9 | 0.14% |
| | | | 興行 | 演劇、演芸、演奏、スポーツ等の興行に係る活動 | 俳優、歌手、プロスポーツ選手等 | 3年、1年、6月、3月又は15日 | 19 | 8 | 11 | 0.06% |
| | | | 技能 | 産業上の特殊な分野に属する熟練した技能を要する活動 | 調理師、スポーツ指導者、航空機の操縦者等 | 5年、3年、1年又は3月 | 397 | 397 | 0 | 1.30% |
| 法別表第一の二 | | 個別 | 技能実習1号イ | 本邦の公私の機関の外国にある事業所の職員等が、雇用契約に基づいて当該機関の本邦にある事業所の業務に従事して行う技能等の修得をする活動 | 技能実習生 | 1年、6月、その他 | 188 | 144 | 44 | 0.62% |
| | | | 技能実習1号ロ | 営利を目的としない団体により受け入れられて行う知識の修得及び当該団体の責任及び監理の下に本邦の公私の機関との雇用契約に基づいて当該機関の業務に従事して行う技能等の修得をする活動 | | | 1,504 | 1,243 | 261 | 4.94% |
| | | | 技能実習2号イ | 1号イで技能等を修得した者が、当該技能等に習熟するため、法務大臣が指定する本邦の公私の機関との雇用契約に基づいて当該機関において当該技能等を要する業務に従事する活動 | | | 22 | 8 | 14 | 0.07% |
| | | | 技能実習2号ロ | 1号ロで技能等を修得した者が、当該技能等に習熟するため、法務大臣が指定する本邦の公私の機関との雇用契約に基づいて当該機関において当該技能等を要する業務に従事する活動 | | | 1,756 | 1,580 | 176 | 5.77% |
| 第一の三 | | 就労不可 | 文化活動 | 収入を伴わない学術上、芸術上の活動 | 日本文化の研究者 | 3年、1年、6月又は3月 | 15 | 12 | 3 | 0.05% |
| | | | 短期滞在 | 短期間滞在学习して行う観光、保養、スポーツ、親善訪問、業務連絡 | 観光、会議参加、親族訪問 | 90日若しくは30日又は15日以内の日を単位とする期間 | - | - | - | - |
| 第一の四 | 要省令基準適合 | 就労不可 | 留学 | 本邦の大学、高等専門学校、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）若しくは特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校において教育を受ける活動 | 大学、短期大学、高等専門学校及び高等学校等の学生 | 4年3月、4年、3年3月、3年、2年3月、2年、1年3月、1年、6月又は3月 | 1,444 | 1,310 | 134 | 4.74% |
| | | | 研修 | 本邦の公私の機関において技術、技能または知識を習得する活動 | 研修生 | 1年、6月又は3月 | 25 | 20 | 5 | 0.08% |
| | | | 家族滞在 | 前記の在留資格（外交、公用及び短期滞在を除く。）をもつ者の家族の日常活動 | 在留外国人が扶養する配偶者・子 | 5年、4年3月、4年、3年3月、3年、2年3月、2年、1年3月、1年、6月又は3月 | 829 | 818 | 11 | 2.72% |
| 第一の五 | | 個別 | 特定活動 | 法務大臣が個々に指定する活動 | 外交官等の家事使用人、ワーキング・ホリデー、経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者等 | 5年、4年、3年、2年、1年、6月、3月、その他 | 602 | 403 | 199 | 1.98% |
| 法別表第二 | | 活動制限なし | 永住者 | 法務大臣が永住を認める者 | | 無制限 | 12,488 | 12,344 | 144 | 41.02% |
| | | | 日本人の配偶者等 | 日本人の配偶者、特別養子、日本人の子として出生した者 | | 5年、3年、1年又は6月 | 3,629 | 3,856 | -227 | 11.92% |
| | | | 永住者の配偶者等 | 永住者の資格で在留する者の配偶者、永住者の子として出生した者 | | 5年、3年、1年又は6月 | 440 | 412 | 28 | 1.45% |
| | | | 定住者 | 法務大臣が特に認める者 | 第三国定住難民、日系3世、中国残留邦人等 | 5年、3年、1年、6月、その他 | 3,617 | 3,760 | -143 | 11.88% |
| 制限なし | | | 特別永住者 | 平和条約国籍離脱者及びその子孫（入管特例法） | | 制限なし | 2,310 | 2,411 | -101 | 7.59% |
| | | | その他 | 出生による経過滞在学习者又は国籍喪失による経過滞在学习者、未取得者等 | | 62 | 12 | 50 | 0.20% | |
| 合計 | | | | | | | 30,443 | 29,789 | 654 | 100.00% |